



ユニコーンズが扱う多彩な商品・サービス群

○本社所在地：東京都葛飾区高砂1丁目

○事業概要：
物流・搬送機器事業/カーエレクトロニクス事業/電子機器製造事業/鉄道グッズ事業/化粧品事業/OA機器販売事業 他

○常時使用する従業員：134名
（グループ全体 2025年12月時点）

○現在の売上高：39億円
（グループ全体 2025年8月期）

○法人番号：7011801046694

○Web：<https://www.kinds.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
金子 高一郎

「ものづくり」と「おもてなし」の調和

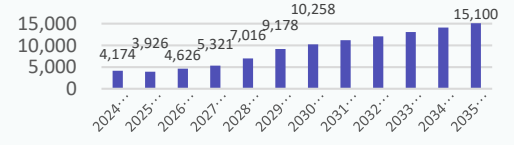
2027年、グループ創業100周年を迎えます。AI、AR/VR、IoT、DXが当たり前となった現在、製造業を取り巻くインターネット社会の変化は不可逆であり、前進し続けることが成長の前提となっています。あらゆるモノがネットにつながる中、製造業は単なるモノ売りから、サービスを含めた価値提供へと進化しています。私たちは“製品”というハードに加え、お客様の笑顔につながる“おもてなし”というソフトを大切に、企業理念である「ものづくり」と「おもてなし」の調和を実践してまいります。今後も社員、協力会社、代理店や販売パートナーと四位一体となって挑戦を重ね、地域社会に貢献しながら、次の100年(※添付資料1参照)、100億企業宣言にふさわしい持続可能な企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年売上高100億円達成、2035年最終目標売上高150億の達成に向け、既存事業の底上げ、新事業創出、M&Aで年率20～30%程度の成長を目標とする

※添付資料2参照



課題

【人財・経営基盤の強化】
人財確保・育成を軸に生産性と経営合理化を進め、基幹システムとAI・DXの活用により経営数値と事業進捗を見える化

【事業連携・成長戦略の高度化】
地域物流会社との提携やシナジー創出を通じて事業領域を拡張し、M&A・PMIノウハウの蓄積により持続的な事業成長モデルを構築

【生産・物流・品質体制の再構築】
製造ライン効率化、リードタイム短縮、物流・購買・生産管理の負荷軽減を進め、品質管理体制を強化し安定供給と付加価値向上を実現する。

【DX・商品化・環境価値の基盤整備】
AIを活用した自社DXシステムや商品・在庫管理基盤を整備し、環境インパクトの可視化とブランド価値向上を通じて競争力を高める。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・車載・モビリティ、電子機器製造、物流、次世代デバイス分野を重点市場と位置づけ、用途別に事業を拡張
- ・グループ内外の研究開発・顧客実証との連携を強化し、既存事業の用途別の新製品開発と迅速な市場投入を推進し、設備投資と内製化により生産性と付加価値を高める
- ・有機半導体技術の中核に育て、自社技術の知財化・標準化を進め、参入障壁の高い事業構造を構築。またフィルムセンサー・超薄型ディスプレイの量産事業を本格化し、次世代デバイス事業を確立

実施体制

※添付資料3参照

【ホールディングス】
基幹システムを整備し、DX推進、人財育成により、経営数値・事業進捗を見える化

【物流・搬送機器事業】
省人化・自動化を成長戦略に、グループで培った物流DXの仕組みを外部企業へ展開

【車載・モビリティ事業】
音響の追求、次世代カーエレクトロニクスと安心安全ソリューションへ領域を拡大

【電子機器製造事業】
高度加工技術を強化、新素材・新技術を活用した「次世代ものづくり」で収益性向上

【ライフスタイル・地域創生事業】
ライフスタイル製品と観光・地域資源を結び、交流と経済循環を生む持続可能な地域創生ビジネスを推進

【ICT・デジタル事業】
ICT・デジタル推進事業を展開し、業務変革と価値創出を支援

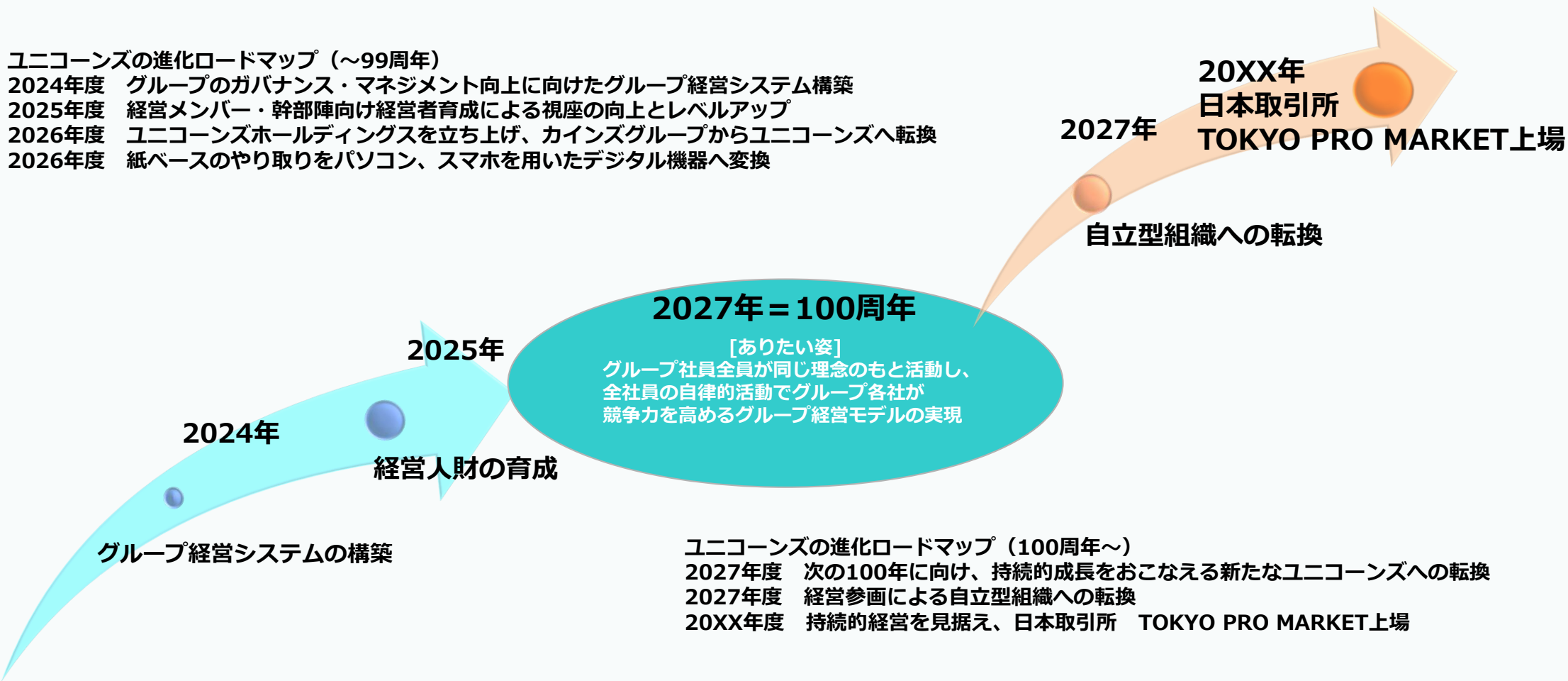
【フィルム半導体事業】
新事業として世界初のフィルムセンサー・超薄型ディスプレイの量産事業を本格化

ユニコーンズの進化ロードマップ

※添付資料1

ユニコーンズの進化ロードマップ（～99周年）

- 2024年度 グループのガバナンス・マネジメント向上に向けたグループ経営システム構築
- 2025年度 経営メンバー・幹部陣向け経営者育成による視座の向上とレベルアップ
- 2026年度 ユニコーンズホールディングスを立ち上げ、カインズグループからユニコーンズへ転換
- 2026年度 紙ベースのやり取りをパソコン、スマホを用いたデジタル機器へ変換



ユニコーンズの進化ロードマップ（100周年～）

- 2027年度 次の100年に向け、持続的成長をおこなえる新たなユニコーンズへの転換
- 2027年度 経営参画による自立型組織への転換
- 20XX年度 持続的経営を見据え、日本取引所 TOKYO PRO MARKET 上場

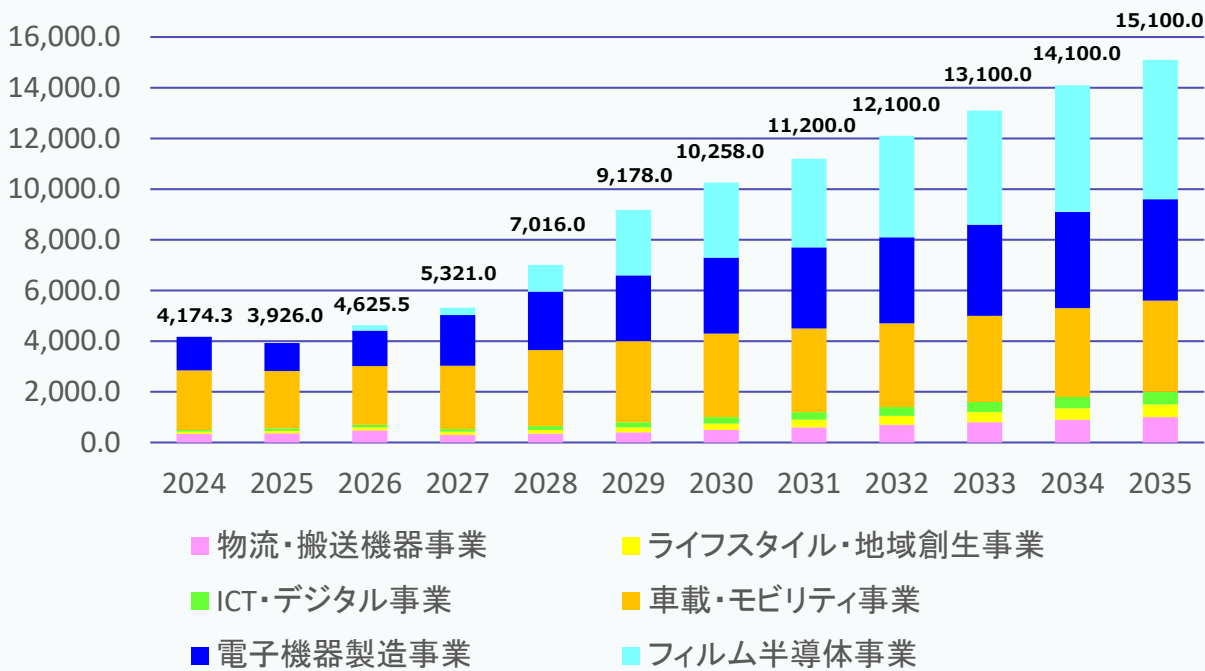
ユニコーンズのホールディング体制と
売上高100億円に向けた目標数値

物流、車載・モビリティ、電子機器製造などの既存事業について、M&Aや設備投資、内製化を通じて用途別に事業拡張を進めるとともに、新事業である次世代デバイス分野では、有機半導体技術の中核として育成し、フィルムセンサーおよび超薄型ディスプレイの量産事業を本格化し、事業基盤の確立を図ります。あわせて、【人財・経営基盤の強化】【事業連携・成長戦略の高度化】【生産・物流・品質体制の再構築】【DX・商品化・環境価値の基盤整備】という4つの重要課題に取り組み、2030年に売上高100億円の達成を目指して成長してまいります。

※添付資料2

年間売上推移グラフ

百万円



事業別売上推移表

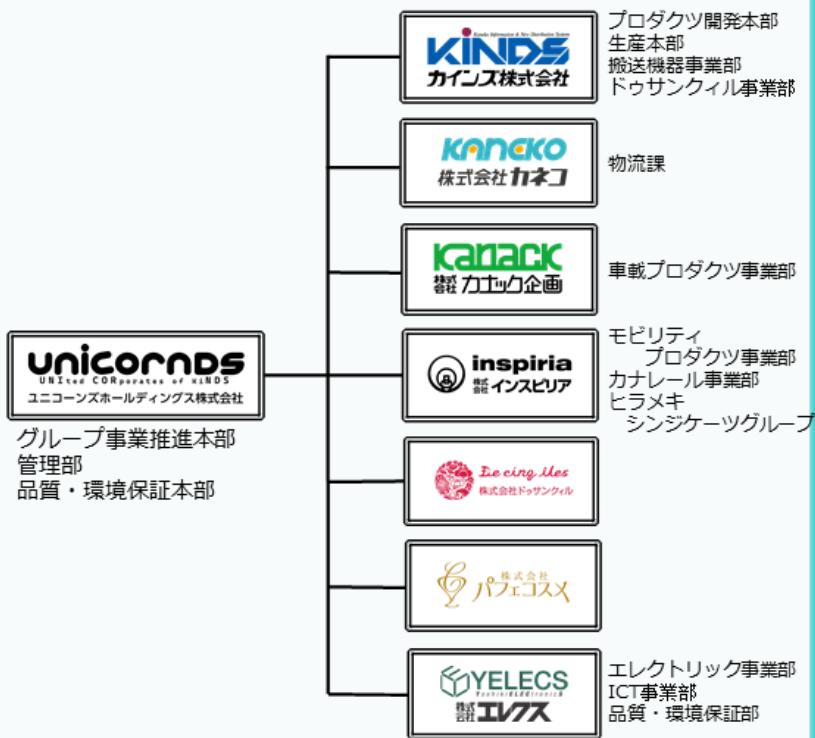
百万円

	2025	2026	2030	2035
物流・搬送機器	362.3	476.5	500.0	1,000.0
ライフスタイル・地域創生	97.0	122.0	250.0	500.0
ICT・デジタル	98.1	100.0	250.0	500.0
車載・モビリティ	2,263.0	2,320.0	3,300.0	3,600.0
電子機器製造	1,105.6	1,400.0	3,000.0	4,000.0
フィルム半導体	0.0	207.0	2,958.0	5,500.0

ユニコーンズ6本の柱

※添付資料3

グループ会社関係図



車載・モビリティ事業

- ・トラック・自動車市場向けに、現場ニーズに即した機器を提供し、安全性と信頼性を高める
- ・AV取付キットや施工ノウハウを強みに、車両ごとの最適なシステム構築を実現
- ・安全支援技術やデータ活用を通じ、セキュリティで安心・安全を支える新たな車載ソリューションを創出

物流・搬送機器事業

- ・省人化・自動化を成長戦略の核にAGV（無人搬送車）、自動倉庫、ピッキングロボット開発、導入
- ・需要予測型在庫管理システムで欠品・余剰在庫を削減
- ・グループで培った物流DXの仕組みを外部企業へ展開

フィルム半導体事業

- ・有機半導体アクティブマトリックス技術を基盤に、超薄型フィルムセンサーや超薄型ディスプレイを製造し、次世代デバイスの量産化
- ・有機半導体技術を核に、新たな用途創出と市場拡大

電子機器製造事業

- ・プリント基板実装や設計開発、FPC・ケーブル加工を軸に、EMS・ODMまで一貫対応
- ・高度加工技術・部品製造を強化し、グループの基盤事業へ発展、新素材・新技術を活用した「次世代ものづくり」で収益性を高める

ライフスタイル・地域創生事業

- ・ライフスタイル製品を組み合わせ、地域の魅力を形にする「地域×ものづくり」ブランドを創出し、持続可能な地域創生を展開
- ・地域インフラや観光と連動した事業を通じ、国内外の需要を取り込み、交流と経済循環を生み出す地域創生ビジネスを推進

ICT・デジタル事業

- ・ソフトウェア・IoT・基幹DXを組み合わせたサービスをグループ内外へ提供
- ・SaaS型ビジネスモデルを展開し、継続的かつ安定した収益モデルを構築
- ・画像解析を起点としたICT・デジタル推進事業を展開し、業務変革と価値創出を支援